

生誕115年記念企画

小津

4K

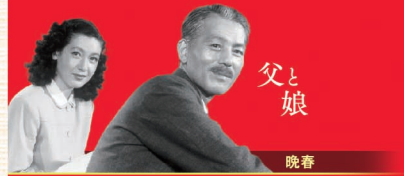
巨匠が見つめた7つの家族

SHOCHIKU KADOKAWA

配給:松竹メディア事業部/KADOKAWA
cinemakadokawa.jp/ozu4k-115/



今も昔も変わらない形がある――



父と娘

晩春



大家族

麥秋



夫と妻

お茶漬の味



親と子

東京物語



夫婦と夫の愛人

早春



父娘と母娘

東京暮色



旅一座

浮草

小津安二郎 OZU Yasujiro RESTORATION PROJECT 角川シネマ

日本が世界に誇る巨匠・小津安二郎の名作を4Kデジタル修復版で一挙上映!



小津安二郎

1903年12月12日、東京市深川区万年町（現在の東京都江東区深川）生まれ。小学校の代用教員を経て、1923年松竹キネマ蒲田撮影所に撮影助手として入社、1926年演出部に移り、翌1927年『懺悔の刃』で監督デビュー。1949年『晩春』は、野田高梧との共同脚本、独自の撮影手法、原節子や笠智衆の起用など「小津調」と呼ばれる戦後の小津の作品スタイルを確立、大きな節目の作品となった。1953年未完成だったシナリオを練り直し、『東京物語』(53)を発表。家族の在り方を問う本作は小津映画の集大成であり、後世に語り継がれる代表作となった。1958年紫綬章を受章。翌59年には映画人として初めて日本芸術院賞を受賞。世界レベルで評価が高まるも、病に倒れ1963年12月12日60歳の誕生日に逝去。生涯映画監督本数54本。溝口健二、黒澤明と共に国際的にも最も支持される、日本が世界に誇る映画監督で、遺した作品は国内外問わず現代でもオマージュを捧げられているなど、数多の映画人に今なお影響を与え続けている。

父と娘



晩春

1949年 / モノクロ / 108分 / スタンダード / 松竹
原作: 廣津和郎 (『父と娘』より)
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 伊藤雄之助
出演: 笠智衆、原節子、月岡夢路、杉村春子、青木放屁、宇佐美淳、三宅邦子、三島雅夫

父と娘の深い愛と絆を描く、原節子記念すべき小津作品出演第1作

小津監督が独自のスタイルを確立させ、後のTVのホームドラマにも多大な影響を与えたとされている必見の名作。『晩春』『麥秋』『東京物語』と原節子が『紀子』役を演じた『紀子三部作』第1作。キネマ旬報ベストテン第1位。

大家族



麥秋

1951年 / モノクロ / 124分 / スタンダード / 松竹
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 伊藤雄之助
出演: 原節子、笠智衆、淡島千景、佐野周二、三宅邦子、菅井一郎、東山千榮子、杉村春子

戦争の傷を抱え生きる家族の崩壊と再生、人間の無常を描く珠玉の名作

『晩春』に続きテーマは娘の結婚であるが、本作は大家族の姿を群像劇としてユーモラスに描き、同時に家族が抱える暗部を見つめその無常を露わにした。『晩春』で原の父役の笠は兄役で出演。キネマ旬報ベストテン第1位。

夫と妻



お茶漬の味

1952年 / モノクロ / 115分 / スタンダード / 松竹
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤一郎
出演: 佐分利信、木暮実千代、鶴田浩二、笠智衆、淡島千景、津島恵子、三宅邦子、柳永二郎

身分や価値観の異なる夫婦のすれ違いと和解を描く感動作

復員した小津が復帰第1作として書いたシナリオが元であるが、そのシナリオは戦時中に検閲当局より却下され、当時の映画人たちに衝撃を与えた。パチンコやトンカツなど当時の庶民の生活が窺えるのも見所。

親と子



東京物語

1953年 / モノクロ / 135分 / スタンダード / 松竹
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順
出演: 笠智衆、東山千榮子、原節子、杉村春子、山村聰、三宅邦子、香川京子

幾度もリメイクされている、映画史上燦然と輝く小津安二郎の最高傑作

地方と都市、家族の絆や親と子の関係、老いと死など人生そのものを、冷徹な視線で真正面から描いた名作中の名作。今もなお国内外で高い評価と支持を得ており、各国の映画人もリストベクトルオマージュを捧げている。

尾道に暮らす老夫婦(笠・東山)が子供たちに会う為上京するが、長男・幸一(山村)や長女・志げ(杉村)は日々の生活に追われ、彼らにまつてやれない。そんな2人を慰めたのは、戦死した次男の嫁・紀子(原)だった…。

夫婦と夫の愛人



早春

1956年 / モノクロ / 144分 / スタンダード / 松竹
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順
出演: 淡島千景、池部良、高橋貞二、岸恵子、笠智衆、山村聰、杉村春子、田浦正巳

倦怠期にある若い夫婦の危機と再生をシリアスに描いた人間ドラマ

東宝の二枚目スター・池部良と松竹看板女優・淡島千景、『君の名は』で同じく松竹の看板女優となった岸恵子を迎え、『東京物語』以来3年ぶりに発表した小津の繊細な演出が冴える異色作。現存する小津作品で最長尺作。

サラリーマンの正二(池部)と妻・昌子(淡島)は結婚8年の共働きの夫婦。子供を失って以来、関係は冷え切っている。そんな中、正二は通勤電車内で親しくなった千代(岸)と成り行きで一晩を共にしてしまい…。

父娘と母娘



東京暮色

1957年 / モノクロ / 140分 / スタンダード / 松竹
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春
美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順
出演: 原節子、有馬稲子、笠智衆、山田五十鈴、高橋貞二、田浦正巳、杉村春子、山村聰

主人公に「光」が与えられない――衝撃の辛口ホームドラマ

戦後の小津作品の中でも最も暗く、悲観的な印象を残す作品と評されがちだが、親子愛に焦点をあてたテーマは現代に通じる強いメッセージが込められている傑作。最後の白黒作品。屈指の名演出と言われるラストも必見。

銀行員の周吉(笠)は、妻と自分の部下が駆け落ちして以来、男手ひとつで子供たちを育てて来たが、長女・孝子(原)は夫とうまく行っておらず、幼い娘を連れて実家に戻って来る。一方、短大を出たばかりの次女・明子(有馬)は男に騙され妊娠してしまう…。

旅一座



浮草

1959年 / カラー / 119分 / スタンダード / 大映
脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 宮川一夫
美術: 下河原友雄 音楽: 齋藤高順
出演: 中村錦之助、京マチ子、若尾文子、川口浩、杉村春子、野添ひとみ、笠智衆

人の心の美しさを溢れる詩情で謳いあげ、胸打つ哀愁と感動で全編を貫く文芸巨篇

第二の故郷・三重で撮影した唯一の作品で、京・若尾、川口など大映スターを迎え撮った唯一の大映作品でもある。日常を淡々と描く小津作品には珍しく登場人物が激しく罵り合う場面もあるなど、高い人気を誇る名作。

志摩半島の小さな港町に旅役者の一座の乗った船が着く。そこには団長・駒十郎(中村)が若坊(杉村)との間にもうけた息子・清(川口)がいる。すみ子(京)は彼らの関係を疑い、加代(若尾)に清を誘惑させるようとするが…。

●上映の解像度(4Kまたは2K上映)は、劇場ごとに異なります。

DVD & Blu-ray 絶賛発売中!

『東京暮色』『早春』『お茶漬の味』デジタル修復版DVD&Blu-ray

(お求めは店頭、または松竹DVD倶楽部にて <http://www.shochiku-home-enta.com/shop/>) 発売・販売元: 松竹

『浮草』4Kデジタル復元版Blu-ray

封入特典:ブックレット/映像特典:4K復元について 発売・販売元: KADOKAWA

	5/4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)
10:30	晩春	麥秋	お茶漬の味	東京物語	早春	東京暮色	浮草	麥秋	お茶漬の味	東京物語	早春	東京暮色	浮草	晩春
13:15	東京物語	早春	東京暮色	浮草	晩春	麥秋	お茶漬の味	早春	東京暮色	浮草	晩春	麥秋	お茶漬の味	東京物語
16:00	東京暮色	浮草	晩春	麥秋	お茶漬の味	東京物語	早春	浮草	晩春	麥秋	お茶漬の味	東京物語	早春	東京暮色

一般 1400 円 大学生 1200 円 会員・シニア 1000 円 高校生 800 円 中学生以下 500 円 (チケットは鑑賞日3日前より劇場窓口および公式HPで販売)

5/4(土)~17(金)

ユーロスペース

渋谷文化村前交差点左折

03-3461-0211

www.europaspace.co.jp

